

No.	質問内容	回答
1	地元からの雇用確保を予定しているか。	<p>工場の操業要員に関しては約300名を予定していますが、このうち約半数はこの分野で知見・経験を持つ核燃料サイクル開発機構及び燃料製造メーカーからの出向者を受け入れることを計画しています。また、残りの約半数については、現職プロパーに加え、新規採用を計画しています。新規採用者の具体的人数等については、今後詰めていくこととなりますが、概ね70～80人と想定しており、地元出身者の採用にも極力努めてまいりたいと考えています。</p>
2	工場の従業員はどのくらいの人数か。村内、県内の出身者は優先して採用されるのか。	
3	操業に必要な社員はこれから雇用するのか。	
4	MOX工場で働く300名は現在の社員数に純増となるのでしょうか。（青森県の高校生の就職先が少ないという報道がなされているので）	
5	地元（六ヶ所村）の人が、お子さん達が雇用されても常勤となる人は一部で、人数も少ないと聞きました。地元雇用をどうお考えですか。	
6	説明で約300名の方々で行うとあったが、全て県内出身なのか。雇用面で原燃のお力添えを期待するものです。	
7	300名の要員を予定し、そのうち半数をプロパー社員を考えているとのことだが、六ヶ所村ならびに隣接市町村を含めた地元からの雇用は、プロパー社員の何%を想定しているのか。	
8	MOX工場の運転要員数は約300名とのことだが、パート等の働き口も、それなりにあるのか。	<p>パート等の採用は、清掃など、一般管理業務については採用も考えられます。</p>

No.	質問内容	回答
9	地域との共存共栄を目指すところがあるが、地域振興については、具体的なビジョンを示すべきである。	私どもでは、日頃から事業を進めていくにあたりましては、地元の皆さまのご理解とご信頼はもとより、地元の皆さまとの共存共栄を図っていくことが、大変重要であると考えております。こうした基本的な考えの下、MOX燃料工場の建設・操業にあたりまして、これまでのサイクル施設と同様に、地元企業の皆さまにご参加いただくなど、地域の活性化に貢献してまいりたいと考えているところであります。
10	地元に着る見込み金額は。	なお、地元への発注につきましては、これまでのサイクル施設の実績などを踏まえながら、できる限り地元企業の皆さまにご参画していただき、ご協力を賜りたいと考えております。
11	MOX工場の建設（1,200億円のうち）にあたって、県内企業への発注額はどれくらいか。	なほ、地元への発注につきましては、これまでのサイクル施設の実績などを踏まえながら、できる限り地元企業の皆さまにご参画していただき、ご協力を賜りたいと考えております。
12	地域との共存共栄に努めるとありますが、具体的にはどのようなことでしょうか。	なほ、地元への発注につきましては、これまでのサイクル施設の実績などを踏まえながら、できる限り地元企業の皆さまにご参画していただき、ご協力を賜りたいと考えております。
13	実績ある技術で製品化することで、あまり心配がないことはよく分かりました。工場を誘致するうえでは地元へ経済効果があつて、しかるべきと思ひますが、地元にとってどのような経済効果（いくらかの）があるのか想定で結構ですのでお答えください。	なほ、地元への発注につきましては、これまでのサイクル施設の実績などを踏まえながら、できる限り地元企業の皆さまにご参画していただき、ご協力を賜りたいと考えております。
14	建屋設置に伴う固定資産税及び営業収益などによる県や村への税金はどのくらいになると見込んでいますか。（地元への金額的メリットはどのくらいか。）	固定資産税等の納入については、建設金額等により納税義務が生じますが、また契約金額が確定していないことや、課税権限者はあくまでの地方自治体にありますので、具体的な金額はお答え致しかねますので、ご理解を賜りたいと思ひます。
15	環境には影響のない設計、対策を講ずるとの説明だが、万が一起きた場合、そして風評被害が出た時の対策はどうなつてゐるのでしょうか。	万一、環境に影響を及ぼすような事態になつた場合には、私どもは被ばくした方と誠意をもってお話しさせていただくとともに、「原子力損害の賠償に関する法律」などに基つき、厳正・適切にお応えしてまいります。また私どもの工場の建設・運転などに起因して風評被害が発生した場合は、私どもでは被害を受けた方と誠意をもって話し合い、解決に努めてまいります。しかしながら、話し合いで解決できない場合には、青森県においては「風評被害認定委員会」があることから、私どもとしては、公正かつ適切な第三者機関の判断にしたがつて、必要な補償をしてまいりたいと考えております。

No.	質問内容	回答
16	<p>良い人材確保の観点から、日本原燃として次代層への教育への具体策も必要と考えるが、どうか。</p>	<p>明日を担う次世代層への教育は、大変重要と考えており、例えば、出前講義や大学祭への参画等を実施しています。また、当社施設の近くにありますPRセンターにて、模型等を用いながら理解を深めていただけるよう努めております。</p> <p>今後とも、行政や教育機関とタイアップして次世代層への理解活動を行って参りたいと考えております。</p>
17	<p>トラブル等が発生した場合、どのような経路で情報を得ることができますか。</p>	<p>MOX燃料加工事業を進めていくには、皆様のご理解とご信頼が必要不可欠であり、そのためには、積極的に情報公開を行い透明性を高めてまいりたいと考えています。</p> <p>私どもでは、ウラン試験開始以降、トラブルの軽重などに応じて、プレス発表やホームページによる公表に取り組んでいます。MOX燃料工場のトラブル情報の公表については、今後の話ですが、現在の施設と同様の対応を取ってまいりたいと考えています。</p>
18	<p>「百聞は一見にしかず」と申します。実際に工場見学等を希望いたしますが、どのような申し込みをすれば良いのでしょうか。</p>	<p>工場の見学を希望される場合は、当社広報渉外室視察グループまでお電話をください。ただし、核物質防護の観点からお見せできない施設もありますので、予めご容赦ください。</p> <p>【視察グループ問い合わせ先】 0175-71-2132</p>